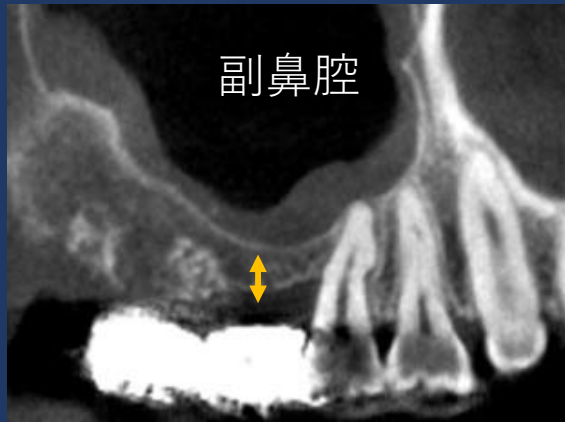
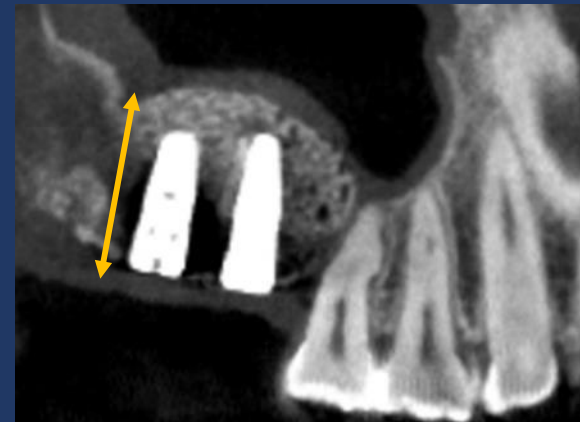


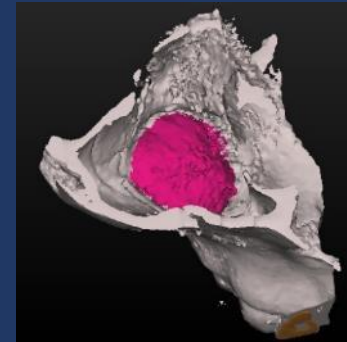
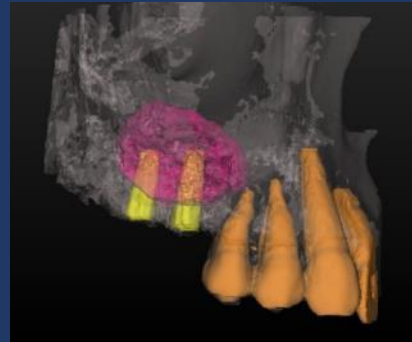
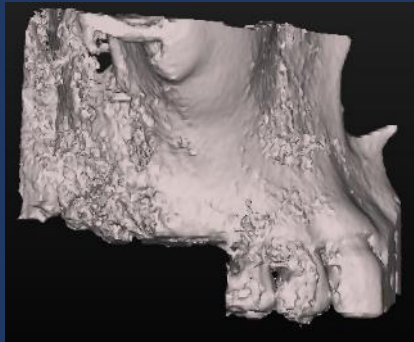
インプラントを埋め込むための骨が不足しているケースで骨を造ってインプラント治療をした症例①



副鼻腔の空洞があるためインプラントを埋め込むための骨の高さが不足している



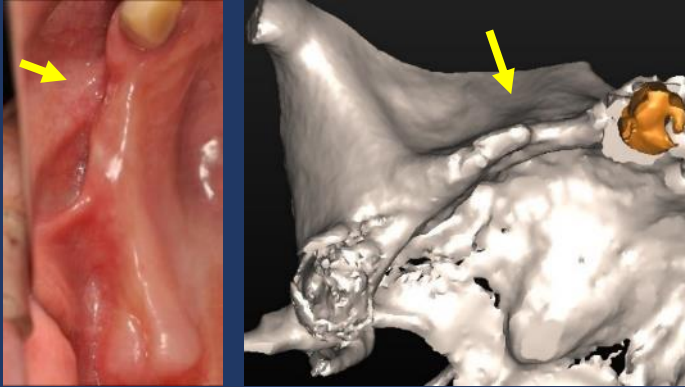
副鼻腔の中に骨を移植し高さを確保することでインプラントを埋め込む事ができた



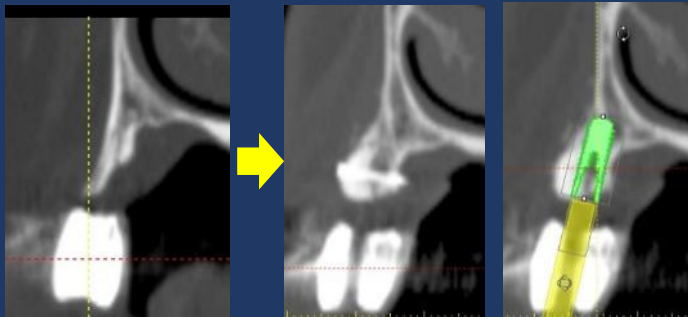
移植によって増量された顎の骨（ピンク）と埋め込まれたインプラント（黄色）。骨の量が足りない難しい症例でもインプラント治療で対応することができます。

骨が痩せてしまってインプラントができないと言われたケースでも、骨を造ってあげることでインプラント治療を行うことが可能となります。

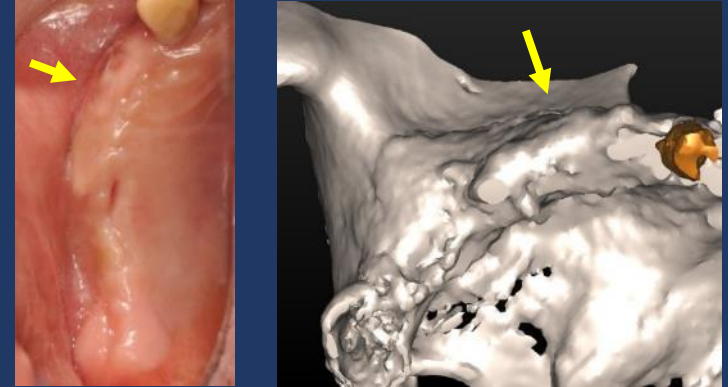
インプラントを埋め込むための骨が不足しているケースで骨を造ってインプラント治療をした症例②



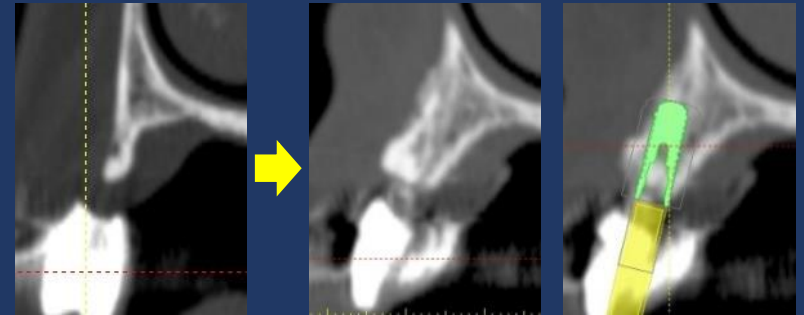
顎の骨が痩せてしまってインプラントを埋め込むための骨の幅が不足している。



治療前



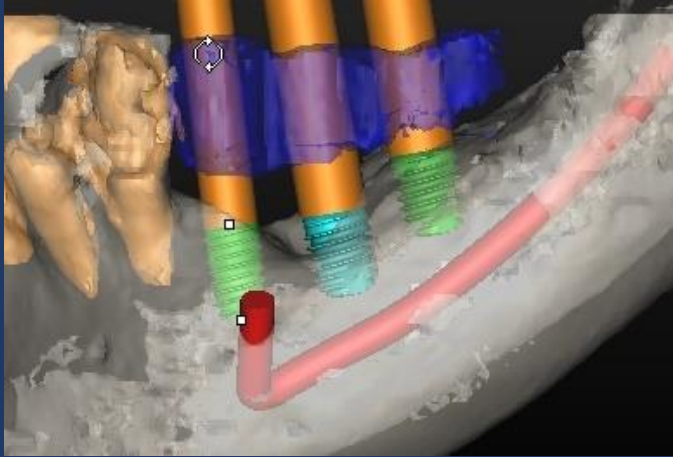
顎を造って骨幅を増やすことでインプラントを埋め込むことが可能となった。



治療後

骨が痩せてしまってインプラントができないと言われたケースでも、骨を造ってあげることでインプラント治療を行うことが可能となります。

顎の骨が痩せて神経までの距離が少ないケースにインプラントで対応した症例



顎の骨がやせてしまって神経までの距離が短く、神経損傷に注意が必要です。



術前の徹底した診断と治療計画、確かな技術で安全にインプラントを埋め込む事ができます。

骨が痩せてしまってインプラントができないと言われたケースでも、術前の徹底した診断と治療計画、確かな技術で安全にインプラントを埋め込む事ができます。